

『あんげろす』発刊にあたって

澁谷 浩

このたび明治学院大学キリスト教研究所の所報『あんげろす』が刊行されることになった。中山弘正所長の創意による新しい試みである。ここ1、2年の間に所員の数が、小さな研究所にしては、かなり増えた。所員それぞれが自分の専門分野の研究に励むとなると、所員の学問的関心の領域はかなり拡散する。それは当然のことであるが、当然のこととして放っておくことは出来ないだろう。所員相互の理解と共感のためには、僅かしか論文を載せられない『紀要』のほかに、気負い立たないで自分を紹介できる所報がなければならない。それは同時に研究所の外に向かって研究所そのものが自己紹介することにもなるだろう。『紀要』の編集は寄稿者がいるからには楽なものである。所報は編集者の腕一つで魅力的なものになったりならなかったりする。新所長の手腕に期待して発刊を待とう。

(しづや ひろし

キリスト教研究所前所長)